

石山

新宿区立戸山小学校

決まりを守ることへの大切さ

主幹教諭

7月27日に国連本部で、アントニオ・グラーレス国連事務総長が、「地球温暖化の時代は、終わり、地球沸騰化の時代が到来しました。」と発表しているところをニュースで見たときは、「いよいよ地球もそこまで来たのか、どおりで最近の夏の日差しは、痛いほど強烈で高温と多湿で命の危険を感じるわけだなあ。」とっていました。それから、長い残暑が、一層秋の訪れを待ち遠しくさせています。熱中症アラートが出ると、外に出ることを控えるよう指導していますので、外遊びの好きな子ども達にとっては、我慢の9月でした。

しかし、今、全校で取り組んでいるSDGsについての学習を進める上で、大きな原動力にもなりました。

天気や気候は、私たちの生活に大なり小なり様々な角度で影響を及ぼします。

異常気象と大災害が世界中で起きている中、自然を前にして、いかに人間は小さくて非力かを改めて思い知らされます。「今さえよければ」「自分さえよければ」という自己中心的な欲望のままの行動や無関心を自重自戒し、節度をもたなければみんなが生きにくくなったり、過ごしにくくなったりするわけです。

地球を大事にしよう、一人一人の生命を大切にしようとする思いが、SDGsの17の目標として掲げられています。子ども達には、SDGsの学習を通して、節度をきまりに置き換えて考え、きまりを守ることが、一人一人の生命を大切にすることにつながることに気付いてほしいと思います。また、いろいろな立場や考えの人と関わり合って、言われるがままではなく主体的にきまりの大切さについて考えてほしいと思います。規範とは、「人間が行動したり、判断したりする従うべき価値判断の基準」をいいます。そのような規範を守り、それをもとに判断したり、行動したりしようとする意識が規範意識です。

「自分や他の人の生命や権利を大切にし、身体的にも心理的にも傷つけてはいけない、公共物を傷つけてはいけない」などを守ることが大切です。規範意識は、私たちが今、子ども達に指導していく必要のある大事なことのひとつだと思っています。

まなびの教室

まなびの教室主任

走るの速いけど、球技は苦手。算数は得意だけど、漢字は苦手。聞いて覚えるよりも見て覚えるほうが得意など、一人ずつ得意なところ、苦手なところが違います。

できないと思っていることでも、学び方をちょっと工夫してあげればできることもあるはずです。

まなびの教室は、一人一人がもっている力を伸ばすためにそれぞれにあったまなび方で勉強する教室です。できた喜びをたくさん味わわせていきたいと思います。

自分のよさに気付き、元気に学校生活が送れるようにまなびの教室では児童を支援しています。



学年の窓 4年

4年生担任

2学期が始まり、1か月近くがたちました。どちらの学級も、継続して学習に取り組む態度や人の話をきちんと聞いて行動するよう指導しています。4年生は担任以外の教員とも授業をしている時間があります。どの教員と学習していても、同じように真剣に授業に取り組む気持ちが大切です。今後も根気強く、丁寧に指導してまいります。

生活面では4年生らしく落ち着いて生活できている子どもたちが増えてきており、頼もしく思います。しかし、まだその波に乗り切れない子どもたちもいます。あきらめることなく、繰り返し指導していくことが大切だと考えています。どの子も気持ちよく過ごすために、相手の気持ちを考えた言動をするよう指導をしています。自分がされて嫌なことは相手にもしない。これを自分事として考えていけるようにしていきます。ここは保護者の皆様にもご協力をいただき、ご家庭でも話題にさせていただきますよう、お願い申し上げます。